

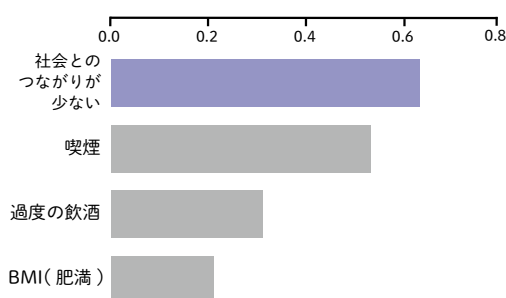
# ひとりじゃない。

## 孤独・孤立対策の推進に向けて

近年、単身世帯の増加や働き方の多様化など社会構造の変化により、家族や地域とのつながりが希薄になる「孤独」や「孤立」が社会課題となっています。

### 図増進型地域福祉課（内線 297）

生活様式が死亡率に与える影響



出典：Holt-Lunstad J, Smith TB, Layton JB (2010)  
『社会的関係と死亡リスク：メタ分析レビュー』, p.14（一部修正）

「孤独」は主観的に感じるもの、「孤立」は客観的なつながりの希薄さを指します。令和6年度に内閣府が実施した「孤独・孤立の実態把握に関する全国調査」によると、全国の16歳以上の個人のうち、約4～5割の人が孤独を感じているという調査結果が出ています。

「孤独」や「孤立」は、育児や転職、病氣・けがなどにより、誰でも直面する可能性があります。

「一人でいること」自体が問題なのではなく、悩みや困りごとが生じた際に一人で抱え込んでしまうことで、複雑化・深刻化することが問題です。孤独・孤立状態を防ぐためには、日常にある「つながり」が重要です。

## 孤独・孤立とは？

## 本市の取り組み

### ① 増進型地域福祉プラットフォーム

孤独・孤立は複合的な要因によるものが多く、行政や団体単独での対応は困難です。そのため、本市では行政と地域組織においてそれぞれの得意分野を活かしたつながりの輪を広げるプラットフォームを設置しています。

令和7年10月31日現在で、NPO法人、社会福祉法人、校区・地区福祉委員会、民間企業など、42団体が参加しています。地域での身近な気づきについて市や支援機関への連絡や相談の他、市からメールマガジンで活動情報の共有などを行っています。

参画団体を募集中！  
詳しくは下図をご覧ください



### ② 福祉なんでも相談窓口

市内3圏域に包括的な相談窓口を設置しています。介護、障がい、子育て、経済的な困窮に関する困りごとなど、さまざまな相談を受け止め、支援機関と連携しながら「その人らしい生き方・理想の暮らし」を応援しています。

## あなたにもできる一歩

孤独・孤立の問題は、支援される側だけのものではありません。

「声をかける」「話を聞く」「見守る」、そんな小さなアクションが、つながりを生む大きな一歩になります。地域の一員として、できることから始めてみませんか。

※プラットフォームへの参画要件など、詳しくはお問い合わせください。

一人で抱え込まず、  
ご相談ください。



### 福祉なんでも相談窓口

月～金曜日（祝日・年末年始を除く）、午前9時～午後5時30分

| 校区                             | ところ                 | 電話番号                   |
|--------------------------------|---------------------|------------------------|
| 第1圏域<br>(喜志・第一中学校区)            | 市役所4階<br>(増進型地域福祉課) | [☎(25)1000]<br>(内線274) |
| 第2圏域<br>(第二・三中学校区)             | 総合福祉会館              | [☎(25)8200]            |
| 第3圏域<br>(金剛・葛城・藤陽・<br>明治池中学校区) | 金剛連絡所2階             | [☎(28)3180]            |

その他、各小学校区で「福祉なんでも相談会」も定期開催しています。 ※詳しくは31ページをご覧ください。